



熱湯の付いた熊笹でおはらいを受ける吉倉区の人たち

吉倉・熊野神社の「湯立て神楽」 300年前から続く 神事が厳かに

熱く煮えたぎった大釜の湯の中に熊笹を入れ、熱湯をすくい振り掛ける「湯立て神楽」。毎年3月1日、吉倉の熊野神社で行われる大変珍しい神事で、元禄時代(約300年前)から続く伝統の行事です。おはらいの湯が体にかかるは無病息災の御利益があるといわれ、湯を沸かした後の消し炭を家に持って帰ると火事に遭わないといわれています。

雨の中で苗木を植え込む参加者



里山を河津校で埋め尽くそうと、2月16日に成田さくらの里(野毛平)で第2回植樹祭が開催されました。当日は朝から降り続く雨の中、雨がっぱを着込んだ約100人の参加者により、50本の河津桜が植えられ、その横に自分たちの名前を書いた木札が立てられました。

成田さくらの里で 第2回植樹祭

プロの技に感心する参加者たち



「魚を3枚にさばこう」講習会 出刃包丁片手に シメサバやアジのお造りに挑戦

すっかり春めいた陽気となった2月27日、遠山公民館で「魚を3枚にさばこう」という講習会が行われました。参加したのは男性4人、女性7人の計11人で、受講の動機は「釣った魚をさばきたい」、「刺し身を自分で作りたい」と人それぞれ。慣れない出刃包丁を片手にシメサバやアジのお造りに挑戦していました。



岩沢克巳さん

成田市保健福祉館の愛称

岩沢克巳さんの「いきいきプラザ」に決定

市が一般公募していた成田市保健福祉館の愛称が「いきいきプラザ」に決まりました。多数の応募の中から選ばれた岩沢克巳さん(花崎町)は「館内がとても明るく、子どももお年寄りも生き生きしてくるような感じがしてこの名前を考えました」と愛称に決められた思いを笑顔で話してくれました。

みんなで人権を考えるつどい

～中学生の人権作文発表と記念講演～

私の選んだ女優の道
講演 市原悦子氏

記念講演を行う
市原悦子さん

フォーラム・イン・ナリタ みんなで人権を考えるつどい

中学生の人権作文発表に 大きな感動と拍手

人権の大切さについて考えようと、3月9日、「フォーラム・イン・ナリタ みんなで人権を考えるつどい」が国際文化会館で開催されました。全国中学生人権作文コンテスト印旛地区大会で入賞した中学生らの実体験に基づいた作文が発表されると、詰めかけた参加者の中には思わず目頭を押さえる人も。この後、女優・市原悦子さんの講演もあり、満員の会場は大きな感動と拍手に包まれました。作文を発表した秋山恭兵くん(成田中3年)と、印旛地区小学生人権標語コンテストで優秀賞に選ばれた藤崎翠葉さん(公津小5年)にそれぞれ記念品が贈られました。



入賞作品を発表する
秋山恭兵くん



記念品を受け取る
藤崎翠葉さん



成田消防署に配備された高規格救急車と救助工作車

3月から成田消防署に最新装備を搭載した、高規格救急車と救助工作車がお目見えしました。救急車には救急救命士が、工作車にはレスキュー隊が乗車してあらゆる災害に対処。市内には、これらを含めた33台の消防車両が配備され市民の安全な暮らしを守っています。

成田消防署に新車両
最新装備の救急車や
救助工作車が
災害現場へ急行！



救助工作車には化学防護服も